

略 歴

2019年7月1日

氏 名 大 竹 文 雄
生 年 1 9 6 1 年
現 職 大阪大学大学院経済学研究科 教授
最終学歴 1983年3月 京都大学 経済学部卒
略 歴 1985年3月 大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程修了
1985年7月～1988年3月 大阪大学経済学部助手
1988年4月～1990年3月 大阪府立大学講師
1990年4月～2001年4月 大阪大学社会経済研究所助教授
2001年5月～2018年3月 大阪大学社会経済研究所教授
2013年8月～2015年8月 大阪大学理事・副学長
2018年4月～現在 大阪大学大学院経済学研究科教授

2013年～2016年 大阪大学特別教授

専門分野 労働経済学・行動経済学
学 位 大阪大学博士（経済学）1996年3月

主な業績

論 文

「規範行動経済学と共同体」『行動経済学』、12巻、pp.75-86, 2019年4月10日公開（大垣昌夫、大竹文雄）DOI:10.11167/jbef.12.75

"Effect of Unemployment on Infant Health," *Journal of the Japanese and International Economies*, Online, March 2019, (Miki Kohara, Nudiru Natsysguna, Fumio Ohtake) DOI:10.1016/j.jjie.2019.03.002

「医療現場の行動経済学：意思決定のバイアスとナッジ」『行動経済学』、11巻、pp.110-120, 2019年2月15日公開（佐々木周作、大竹文雄）DOI:10.11167/jbef.11.110

"Is Being Agreeable a Key to Success or Failure in the Labor Market?," *Journal of the Japanese and International Economies*, Vol. 49, pp. 8-27, September 2018, (Sun Youn Lee and Fumio Ohtake) DOI: 10.1016/j.jjie.2018.01.003

「長時間労働者の特性と働き方改革の効果」『行動経済学』、10巻、pp.50-66、2018年2月3日公開、（黒川博文、佐々木周作、大竹文雄）、DOI: 10.11167/jbef.10.50

"Procrastinators and hyperbolic discounters: Transition probabilities of moving from temporary into regular employment," *Journal of The Japanese and International Economies*, Vol. 34, Dec. 2014, pp. 291-314, (with Sun Youn LEE) など

著 書

『日本の不平等』、日本経済新聞社、2005年（日経・経済図書文化賞、サントリー学芸賞、エコノミスト賞、日本学士院賞 受賞）

『経済学的思考のセンス』、中公新書、2005年

『競争と公平感』中公新書、2010年

『経済学のセンスを磨く』日経プレミア、2015年

『医療現場の行動経済学』（大竹文雄・平井啓共編著）東洋経済新報社、2018年 など